



イギリス・ルネサンス期の音楽理論書を読む

Th.モーリー《平易で簡明な実践音楽の手引き》M-3/11, M-2/21

佐々木 勉

2018年6月2日

和歌山県立図書館南葵音楽文庫閲覧室

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松 1-7-38
tel.073-436-9500
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/>



1597年初版タイトルページ

トマス・モーリー 《平易で簡明な実践音楽の手引き
A Plaine and Easie Introduction to Practicall
Musicke》1597年

トマス・モーリー (Thomas Morley, 1557~1602年)
ロンドンで作曲家、音楽理論家、楽譜出版者として活躍。セント・ポール大聖堂オルガン奏者、宮廷礼拝堂のジェントルマンを歴任。1598年に出版権を獲得。マドリガル集《オリアナの勝利》をはじめ、9巻の世俗歌曲集と合奏曲集を出版。作品にはサーヴィス、アンセム、詩編、モテットなどの40曲を超える教会音楽、150曲ほどのマドリガル、イタリア語歌曲、鍵盤楽曲がある。

《平易で簡明な実践音楽の手引き》

I. 出版状況

1597年初版 ピーター・ショート Peter Short
1608年版 ハンフリー・ロウンズ Humphrey Lownes
1771年版 ウィリアム・ランダル William Randall

II. 特徴

- ① 網羅的 (実践音楽だけでなく思弁的音楽を含む)
- ② 英語による問答体

III. 登場人物

フィロマテス (主人公の音楽初学者)
グノリムス (音楽教師)
ポリマテス (フィロマテスの友人)

IV. 構成と内容

i. ウィリアム・バード宛献呈辞

ii. アンソニー・ホルボーンらによる3つの賛辞

iii. モーリーによる読者への序文

iv. 第1部: 歌唱教程 Teaching to Sing

音階とソルミゼーション、音部記号 (意味、種類、形)、臨時記号、音符と休符 (種類、形、連結符) とそれぞれの音価、音符の分割 (完全分割と不完全分割)、音価の比率変化、色符など

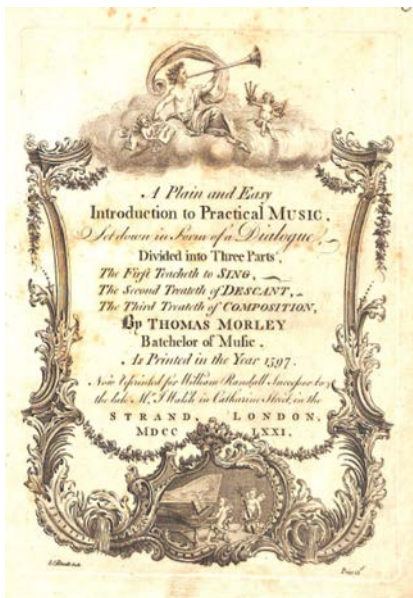
v. 第2部: 多声音楽教程 Teaching of Discant

ディスカント (楽曲、声部、即興演奏)、音程 (協和、不協和)、和音の連結法、終止法など

vi. 第3部: 作曲教程、あるいは歌曲の作曲

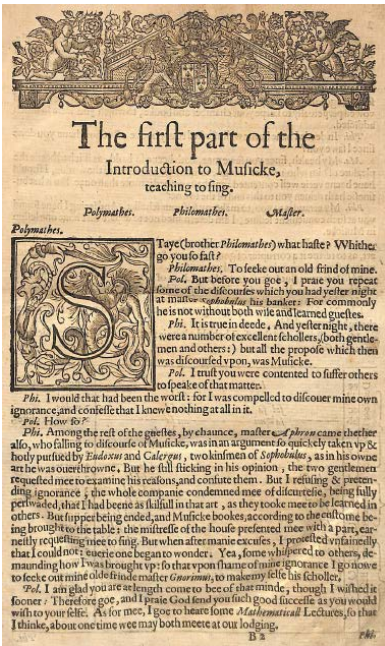
Teaching of Composing or Setting of Songs

vii. 「本書を理解するために不可欠な注解 Annotations necessary for the understanding of the booke」



《平易で簡明な実践音楽の手引き A Plain and Easy Introduction to Practical Music》1771年タイトルページ

トマス・モーリー 《平易で簡明な実践音楽の手引き》第1部から冒頭部分



批判するように求めました。私は、無学を装い、断りましたが、みなさんが私の非礼をとがめたのです。みなさんが、私が音楽の技芸に熟達していると信じ込み、[音楽の] 識者と思っていたからです。食事が終わり、(習慣に従って)楽譜がテーブルに用意され、夫人が私に1つの声部を示して歌うように熱心に求めました。いろいろ言い訳し、歌えませんとありのままを申し上げたところ、みなさんが私を疑い始めたのです。そればかりか、どういう育ち方をしたのか問いただそう、とこそこそ話し始める始末でした。それで無学が悔やまれて、古い友人のグノリムス先生を探して弟子にしてもらおうと考えたのです。

2 The first part.

Phl. Parwell, for I live upon thornes all I be gone: therefore I will make haife. But if I be not deceiv'd, I see him whom I seeke fitting at yonder doore, out of doubt it is hee. And if I should seeke hee I should find him at some point of Musicke; but I will drive him out of this dunpe. Good morrow Sir.

Pol. And you also, good matter: Philomathes, I am glad to see you, being it is so long agoe since I sawe you, that I thought you had either been dead, or then had vowed perpetually to keepe your chamber and booke, to which you were so much addicted.

Phl. In deede I have bene well affected to my booke. But how have you done since I sawe you?

Pol. My health, since you have met me, hath bene fow badd, as if it had bene the pleasure of him who usay all things, to have taken me out of the world; I should have bene verie well contented, and have wil'd it more than once. But what businessse hath driven you to this end of the roome?

Phl. My errand is to you, to make my self your scholar. And seeing I have found you as fit a comment leasure, I am deterr'd not to depart: till I have one lesson in Musicke.

Pol. You tell mee a wonder: for I have heard you so much speake against that art, as to terme it a corrupter of good manners, & an allurement to vices, for which many of your companions turned you a scooke.

Phl. It is true: But I am so late changed, as of a scooke I would willingly make a Discipule. And of that I am ready to say to day, I praye you begin even now.

Pol. With a good will. But have you leas'd nothing at all in Musick before?

Phl. Nothing. Therefore I pray begin at the verie beginning, and teach mee as though I were a child.

Pol. I will do so, and therefore behold, here is the Scale of Musicke, which we terme the Gam.

la	la	1 note.
la fa	sol la	2 notes.
fa mi	fa sol	2 notes, a cliffes.
mi fa	re mi la	3 notes.
sol re ut	ut re sol	3 notes.
fa ut	ut fa	2 notes.
la ut	re sol la	3 notes.
sol fa ut	ut fa sol	3 notes, a cliffes.
la mi re	mi fa	2 notes.
fa re ut	ut re sol	3 notes.
mi re	ut fa sol	3 notes.
fa ut	ut fa	2 notes.
mi re	re mi la	3 notes.
fa ut	ut fa	2 notes.
mi	mi	1 note.
ut	ut	1 note.

ポリマテス：待ちなさい、フィロマテス、何を急いでいるのだ。そんなに急いでどこへ行くのですか。

フィロマテス：古くからの友人を探しています。

ポリマテス：行く前に、昨夜のソフォブルス先生の宴会で話題になったことを話してくださいませんか。彼の宴会には、いつも聡明な識者が客人として招かれるのですから。

フィロマテス：そのとおりです。昨夜も、ジェントルマンなど、多くの優れた学者がお見えでした。そこで話し合われた話題はみな、音楽についてでした。

ポリマテス：それでは、あなたは、他の人たちが話すのを辛抱強く聞いていなくてはならなかったでしょう。

フィロマテス：最悪でした。自分の無学を思い知らされました。音楽についてまったく知らなかったのですから。

ポリマテス：どうして、そんなことになってしまったのですか。

フィロマテス：来客の中にたまたまアフロン先生がお見えだったので、音楽の話題になりました。この話題はすぐさまソフォブルス先生の親類のユードクスさんとカレーグスさんによって取り上げられ、議論は白熱しました。そして専門家であるはずのアフロン先生が、この2人によって論破されてしまったのです。しかしアフロン先生がご自身の意見に固執したので、この2人のジェントルマンが私に彼の論拠を検証し、

批判するように求めました。私は、無学を装い、断りましたが、みなさんが私の非礼をとがめたのです。みなさんが、私が音楽の技芸に熟達していると信じ込み、[音楽の] 識者と思っていたからです。食事が終わり、(習慣に従って)楽譜がテーブルに用意され、夫人が私に1つの声部を示して歌うように熱心に求めました。いろいろ言い訳し、歌えませんとありのままを申し上げたところ、みなさんが私を疑い始めたのです。そればかりか、どういう育ち方をしたのか問いただそう、とこそこそ話し始める始末でした。それで無学が悔やまれて、古い友人のグノリムス先生を探して弟子にしてもらおうと考えたのです。

ポリマテス：ようやくその気になりましたね。早い方がいいでしょう。おいでなさい。あなたの希望通りになるように祈っていますよ。私は、数学の講義を聴きに行きます。また後ほど宿舎で会いましょう。

フィロマテス：御機嫌よう。棘の上に座っているようなもので急ぎます。思い違いでなければ、ドアの向こうに座っているのは、探しているグノリムス先生のです。そうです、彼に間違いありません。何か音楽の問題について思いを巡らせているようですが、夢から覚めて頂かなければなりません。おはようございます。グノリムス先生。

教師：おはよう、フィロマテス君。会えてうれしいですよ。しばらく見かけなかったの、亡くなったか、部屋に閉じこもって本に熱中しているのかと思いました。

フィロマテス：そのとおり、本に夢中になっていました。以前お会いしてから如何なさっていましたか。

教師：以前会った時より身体の具合は悪くなりました。神が、私をこの世から取り除こうと望まれているかのようで、私は、それに満足し、一度ならずもそうなるように望んでいました。ところで、このような町外れまで何の用事ですか。

フィロマテス：あなたに会いに来ました。弟子にして下さい。のんびりくつろいだご

様子を拝見したので、音楽について何か1つご教示頂けるまで離れません。

教師：不思議なことをおっしゃる。あなたは、良い作法を墮落させ、不道徳を招くと言って、音楽のことを非難していませんでしたか。だから、仲間たちは、あなたを禁欲主義者と呼んでいたはずだが……。

フィロマテス：その通りです。しかし心を入れ替えて禁欲主義者からピタゴラス主義者になると思います。一刻の猶予もありません。すぐに始めて下さい。

教師：それでは、そうしよう。あなたは、以前、何か音楽のことを学んだことはありますか。

フィロマテス：まったくありません。ですから、子供に教えるように、まったくの初歩から始めて下さい。

教師：そうしよう。それでは、まずこれを見なさい。これが、私たちがガム (ガムート) と呼ぶ音階です。